Contents

・JCHOってどんな病院？

・海に囲まれ、山に恵まれた
JCHO九州、山口

・何でもできる大病院と
専門特化の中小病院

・地方都市で働くおもしろさ

独立行政法人
地域医療機能推進機構

九州地区事務所
〒866-0862
熊本県八代市松江城町2-26
熊本総合病院健康管理センター棟4階
TEL 0965-88-6211
E-mail:jinji@chikukyusyu.jcho.go.jp

地区事務所HP

YouTube

2022年発行(vol.3)

独立行政法人
地域医療機能推進機構

JCHO

Japan Community Health care Organization

病院薬剤師になりませんか？

ver.3
九州・山口
エリア

JCHO Japan Community Health care Organization

正式名称 独立行政法人地域医療機能推進機構

我ら全国ネットのJCHOは、地域住民、行政、関係機関と連携し地域医療の改革を進め、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

JCHO（地域医療機能推進機構）とは

全国57の病院群で、介護老人保健施設も有し超高齢化社会のニーズに、スケールメリットを活かした病院運営を通じて対応します。「急性期～回復期～介護」それぞれでのシームレスなサービスを提供し、地域の医療ニーズに応えます。

5つの医療で地域のニーズに対応

5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）

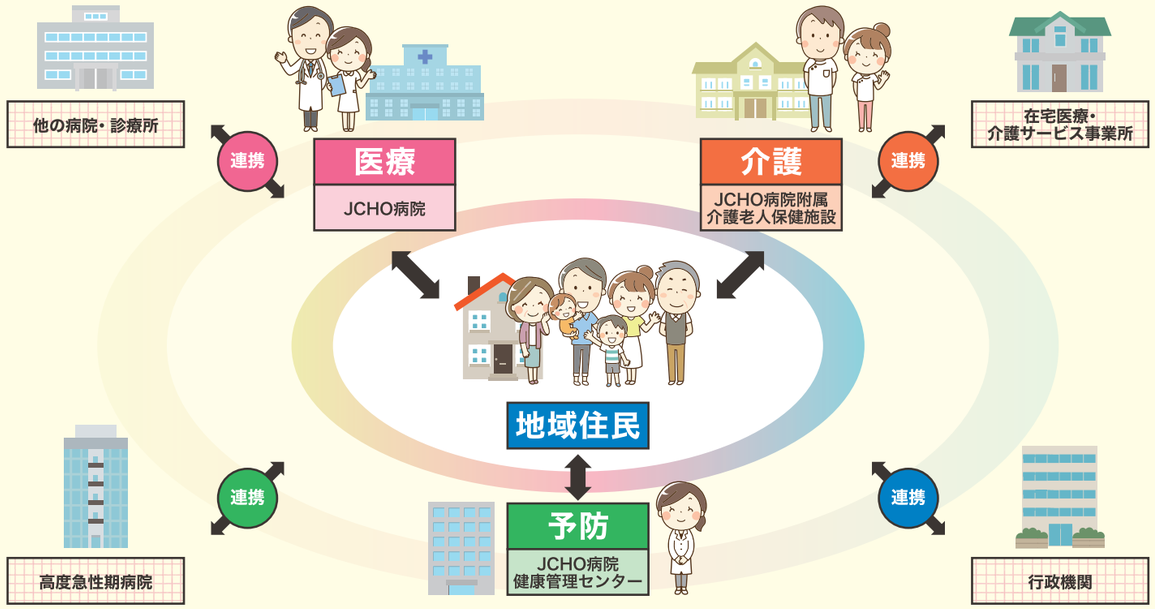
病院の機能を最大限に活かし、地域のニーズに応じた医療提供体制の充実を目指します。

5事業

1. 救 急 医 療　救急医療に貢献するため、救急受け入れ数の増加を目指します。
2. 災 害 医 療　被災地の実情に応じた支援を、災害発生初期以降も持続的に行います。
3. へき地医療　へき地を含む医師不足地域への支援のため、全国ネットを活かし協力します。
4. 周産期医療　分娩数全体のほか、ハイリスク分娩や母体又は新生児搬送の受入数の増加を目指します。
5. 小 児 医 療　小児救急患者の受入数の増加を目指します。

JCHOの役割 地域包括ケアの推進

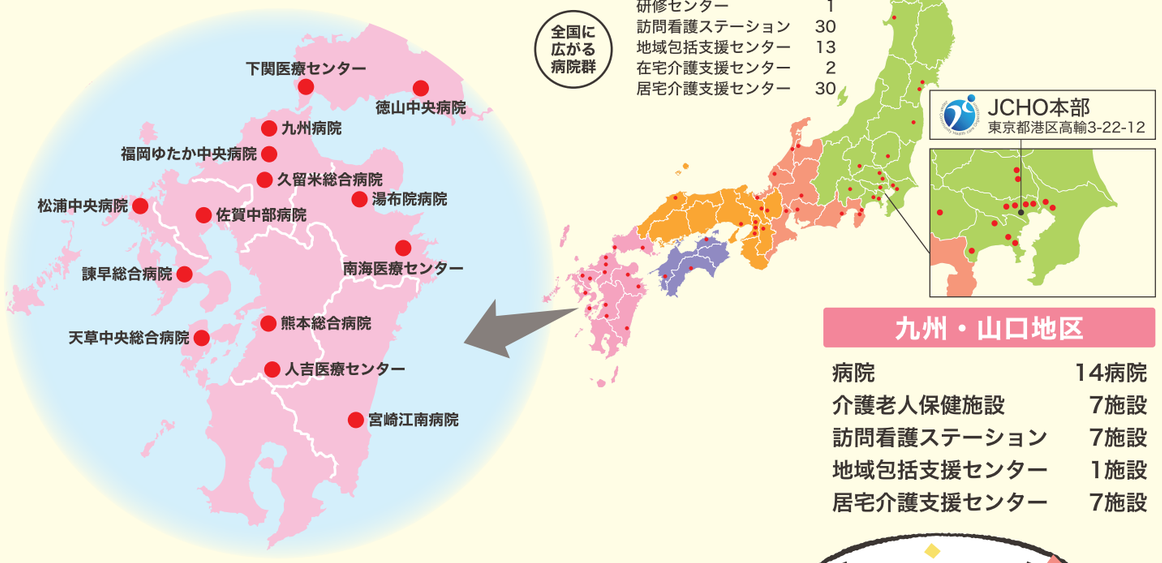
地域住民や行政、関連機関と連携しながら、
安心して暮らせる地域づくりに貢献している団体です。



JCHO病院ってどこにあるの？

全国に57の病院があり、
介護老人保健施設や訪問看護ステーションなどもあります。

病院	57
健康管理センター	57
介護老人保健施設	26
看護専門学校	7
健康増進センター	1
研修センター	1
訪問看護ステーション	30
地域包括支援センター	13
在宅介護支援センター	2
居宅介護支援センター	30



九州・山口地区

病院	14病院
介護老人保健施設	7施設
訪問看護ステーション	7施設
地域包括支援センター	1施設
居宅介護支援センター	7施設

心配いりません
JCHO病院は人材豊富！

キャリアアップ・研修は？

専門・認定薬剤師多数在籍！

JCHO九州・山口の薬剤師で、がん専門薬剤師、緩和認定薬剤師…などなど、おおよそ思いつく主要な認定はほぼ網羅されています。むしろ、認定を取らない人が珍しいレベルです。
（1つの病院施設10数人が持っている認定が30～40数種類というイメージですね）
人材豊富ですから、新人研修やキャリアアップは全く心配いりません。

【託児所のある施設】
下関医療センター、徳山中央病院、九州病院、
久留米総合病院、佐賀中部病院、諫早総合病院

給与ってどのくらい？

初任給は、保険薬局等の水準に比べれば、確かに安いのかもしれませんが、その後、しっかり昇給し続け、キャリアアップとともに階段をあがるように上昇。単純な年功序列ではないので、40代の薬剤部長も少なくありません。しっかり頑張って、しっかり業績を上げれば、キチンと認めるような組織を目指しています。

薬剤師 1年目	薬剤師 (35歳)	主任 薬剤師	副薬剤 部長	薬剤 部長
平均年収 約370万円	約500万円	約650万円	約750万円	約870万円

社会保険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
退職金制度	あり
休 暇 等	年次休暇（年20日、繰越日数最高20日） 病気休暇 特別休暇（夏季・結婚・産前産後・出産等） 育児休業、介護休業、自己啓発休業　など
休　日	4週8休以上、国民の祝日、 年末年始（12/29～1/3）
その他	職員の健康増進のため 以下の事業に取り組んでいます。 ■保養所利用補助 ■体育奨励 （事業所活動や部（同好会）活動に対する費用補助あり） ■メンタルヘルス電話健康相談（無料相談）

財形貯蓄制度、引越やレンタカー、
ホテルの割引制度や各種クレジットカードの優待制度
なども充実しています。

ここがお勧めポイント

九州・山口がイイ!!

グルメ

九州の食べものは
とにかく美味しい！

自然

住宅地や通勤路が観光地。

人も街も自然も
みんな優しい！

温泉

ここがお勧めポイント

仕事でも 地方都市がイイ!!

都会の病院に勤めるほうが、いろいろ便利だし、勉強の機会も多いし…
というのも間違いはないのですが、地方都市が有利な点も多いんですよ。

医療連携

人口が少ない分、
医師会・薬剤師会・歯科医師会など
各職能団体の連携も、
良い意味で「密」です。

病院と薬局、
お互いの知恵を出し合いながら、
患者さんをトータルで
見ていくことが出来ているのも
地方都市の魅力。

地域密着がおもしろい

薬剤師の課題としても「地域連携」が言われるようになりましたが、まさに、地方都市を支える医療の中核となっているのも、中小病院。地方都市では、病院薬剤師と薬局薬剤師の垣根も低く、交流が盛んです。

例えば

天草中央総合病院では、医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会・栄養士会など全ての職種が仲良く連携しています。行政主催で、各職種が一同に会する「天草市健康フェスタ」が毎年開かれ、マスコミも取材に来る中、薬剤師も大活躍しています。

天草中央総合病院

南海医療センター

例えば

南海医療センターでも行政・薬剤師会の共催で毎年「くすりと健康フェア」を開催しており、薬剤師が活躍しています。また、病院・医師会・歯科医師会・薬剤師会対抗の親善ソフトボール大会が毎年行われており、職種を越えて相互に顔が見える大変良好な関係にあります。

九州病院

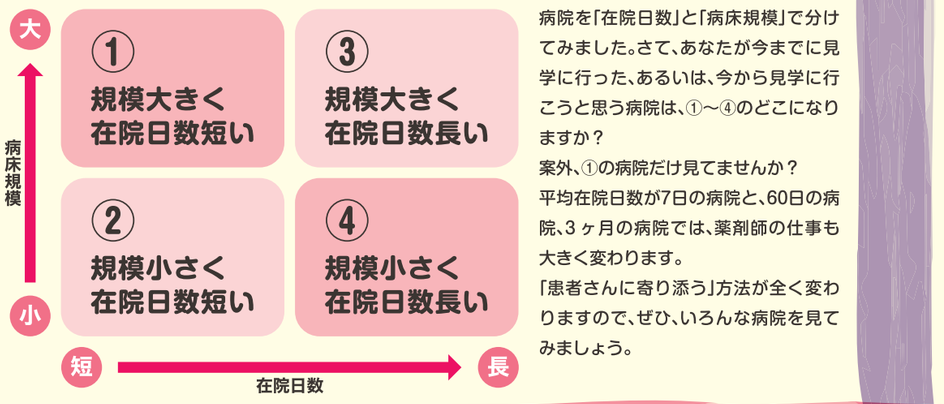
連携がおもしろい

大病院として地域を支える九州病院では、八幡地域の医師会や薬剤師会などと、かなり以前から連携を深めて、ポリファーマシーなどに取り組んできました。その結果、全国でも先進的な取り組みの地域として熱い視線が注がれ、TV等のマスコミなどでも紹介されています。

ポリファーマシー以外にも、地域連携の重要性が全ての施設で増しています。
例えば、2020年より「連携充実加算」の算定が始まりました。
これは、外来化学療法について、レジメン等を公開し、地域の薬局薬剤師に対して講演・講義を通じて、患者の安心・安全を確保するものです。
このように「連携に対する評価」は、今後も充実される流れにあります。

コラム

在院日数を考えた病院の選び方



病院を「在院日数」と「病床規模」で分けてみました。さて、あなたが今までに見学に行った、あるいは、今から見学に行こうと思う病院は、①～④のどこになりますか？
案外、①の病院だけ見てませんか？
平均在院日数が7日の病院と、60日の病院、3ヶ月の病院では、薬剤師の仕事も大きく変わります。
「患者さんに寄り添う」方法が全く変わりますので、ぜひ、いろんな病院を見てみましょう。

私はどんな薬剤師になりたいのか？

「在院日数が7～14日程度の急性期病院」での薬剤師活動を考えて見ましょう。

服薬指導の算定基準は「週1回」ということになりますが、在院日数が7日なら、どういう指導をしますか？…もちろん、ベッドサイドに1回行けば済むような話ではないですね。

どんどん、日々入れ替わる患者さんの入退院対応、手術前中止薬剤等への細かい配慮、持参薬対応、術前・術後の患者指導、化学療法に関するカンファレンス、紹介先施設への対応、紹介元への疑義照会。ほんの少し考えただけでも、かなり慌ただしいことは理解できると思います。

さらに、勤務する職員数も多いので、全ての職員と顔見知りなんてことはありませんね。自分の意見を通したいときには、しっかり、理路整然と、然るべき場所で、皆の納得が得られるよう説明することが求められますから、コミュニケーション能力も必要です。

こういう状況で行われる効率的なチーム医療において、薬剤師として適正な薬剤療法の実現のために活躍することで、多職種の中で存在感を示し、患者さんに寄り添っていく大病院薬剤師。

そのため、大病院薬剤師は、患者さんからだけでなく、各職種からも、行政からも高い評価を受けているわけです。

ただし、人によっては「もっと長い期間、患者さんと向き合った仕事をしてみたい」などの希望があると思いますので、「私はどんな薬剤師になりたいのか」、自分の心と向き合って、上図の①②③④、どの病院が向いているのかを考えて見ましょう。

JCHO九州が教える病院選び

中小病院はおもしろい！

“「実はかなりおもしろい」200床未満”を攻略する

「200床未満の病院」には、
学生さんが見学にあまり来なかったり、
就職希望者が少なかったりしますが…

その魅力を知らないなんて
もったいない！

薬剤師のプロに言わせれば、「そこを覗かない」なんて、もったいない。
大病院ブランドを追いかけるのではなく、オーダーメイド的な「患者さんに寄り添う医療」であったり、「専門特化（尖った）医療」や「地域密着医療」など、さまざまな面白さが詰まっているのが、中小病院です。

専門特化した独自性がおもしろい

例えば「女性」に特化

久留米総合病院。病床数が少ないだけで、就職説明会等では興味を持ってもらえない場面もあるのですが、ここで実習を受けた学生が「JCHO久留米以外では就職したくない」と言うほどの人気病院です。

この病院は「女性」に特化し、乳がん治療症例数は全国屈指。もちろん、がん専門・認定取得も容易で、指導する薬剤師も高レベル。薬剤師向けの認定取得講座の講師も行っています。もちろん、がんだけでなく、「女性の一生を医療の力で支える」というのがキャッチフレーズ。こういう独自性は、急性期大規模病院ではなかなか出せない魅力なんです。

久留米総合病院

湯布院病院

例えば「リハビリ」に特化

温泉観光地湯布院にある湯布院病院は、「リハビリ」に特化しています。そのリハビリ施設の広さと充実度は、全国屈指。一度入ってみれば、驚くこと間違いないです。湯量豊富な湯布院温泉の「源泉」も持っており、それを生かした「温泉リハビリプール施設」など、独特なサービスがあります。そこでの薬剤師の仕事を想像してみれば、また面白い。

リハビリ＝亜急性期や慢性期の患者を対象としますから、在院日数も急性期病院より長めですし、外来リハなどで長い付き合いになる患者さんもいます。そういう中ですから、薬物療法の経過、結果も出てくることが、容易に想像できますね。

このように

**中小病院は、「全診療科が揃った大病院」では出せない魅力をもった病院群と言えますので、
それぞれをじっくり見てほしいところです。
まずは、その専門性を見てみることをおすすめします。**

職員数が少ないのがおもしろい

単純に「大人数が同じ方向に向かい仕事をする」場面を考えてみましょう。
様々な難しさを思い浮かべるでしょう。「意見の一致」「同意取得」「理念の共有」「行動規範」「マニュアル整備」など。
大きな組織で何かの変化を起こすには、かなり大変であることは想像できると思います。

医療は頻繁に変化する

医療は頻繁に変化しています。2年に一度の診療報酬の改定で大きく変化しますし、医療と介護の間でも年々、様々な変化が起こっています。近年では、介護施設や高齢者用のマンション建設ラッシュなどが街中の変化として観察できます。

薬剤師の仕事も大きく変化し続ける

平成元年には、ほぼ存在しなかった「保険薬局」が、既にコンビニ超えの59,000軒となったのが、ここ30年の動き。薬学生の就職先が「製薬企業」から「保険薬局」へ変化し、大学の授業は「創薬」から「臨床」へ変化し、薬科大学が林立するようになりました。
近年の病院薬剤師の仕事も、病棟だけでなく、ポリファーマシーや持参薬への対応、薬・薬連携などへ広がりを見せています。こういう変化の中、機動的に変化を先取りし、対応しているのは中小病院だったりします。
「少ない職員数」は、デメリットではありません。「全ての職員が顔見知りである中小病院」たからこその面白さも知っていほしいです。

中小病院では、職員ひとりひとりの存在感が大きいのです。

コミュニケーションがおもしろい

お互いの距離が近いのが中小病院。そこで、自然と多職種の連携が進むわけですが、それは院外の各職能団体にもつながり、地域の医療、介護関連団体ともつながっていきます。
町の料理教室でサプリメントの健康講話をやったら評判が良くて、市民公開講座に呼ばれて、さらに地方のラジオ局に呼ばれて…
というような事例もありますから、コミュニケーションが好きな方には向いているかも知れませんね。

JCHO九州が教える病院選び

何でもできる大病院

“なんでも揃ってる大病院（200床以上）”を攻略する

特に400床以上の大病院には、学生時代の病院実習で見た全ての要素が詰まっています。
就職活動の見学対象で、真っ先に選ばれるのも大病院。
学生さんに大人気の「大病院」ですが、就職してから「想像していたのと何か違う」という声も聞きます。そこで大病院への就職のメリット、デメリットを考えてみましょう。

熊本総合病院

専門・認定をもった先輩が丁寧に指導します

専門・認定取得なら大病院

薬剤師スキルアップの代表が「専門・認定」制度。
各種学会や団体が、さまざまな認定制度を作っていますね。

薬剤師の取得対象となる主な認定制度

団体名称	認定制度
日本薬剤師研修センター	研修認定薬剤師
	漢方・生薬認定薬剤師
日本病院薬剤師会	がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師
	感染制御専門薬剤師、感染制御認定薬剤師
	精神科専門薬剤師、精神科薬物療法認定薬剤師
	妊婦・授乳婦専門薬剤師、妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師
	HIV感染症専門薬剤師、HIV感染症薬物療法認定薬剤師
	生涯研修履修認定薬剤師
日本医療薬学会	指導薬剤師、認定薬剤師
	がん指導薬剤師、がん専門薬剤師※
	薬物療法指導薬剤師、薬物療法専門薬剤師（平成24年度発足）
日本臨床薬理学会	認定薬剤師
	認定CRC
日本静脈経腸栄養学会	栄養サポート（NST）専門薬剤師
日本緩和医療薬学会	緩和薬物療法認定薬剤師
日本化学療法学会	抗菌化学療法認定薬剤師
日本褥瘡学会	日本褥瘡学会認定師
日本臨床救急医学会	救急認定薬剤師
日本医療情報学会	医療情報技師
日本医薬品情報学会	医薬品情報専門薬剤師
日本腎臓病薬物療法学会	腎臓病薬物療法専門薬剤師、腎臓病薬物療法認定薬剤師
日本プライマリ・ケア学会	プライマリ・ケア認定薬剤師
糖尿病療養指導士認定機構	糖尿病療養指導士
ICD制度協議会	ICD（医師またはPh.D.）
日本アンチ・ドーピング機構	スポーツファーマシスト
日本サプリメントアドバイザー認定機構	サプリメントアドバイザー

※医療法上広告が可能な専門性に関する資格

（日本医療薬学会HPより引用）

認定

各認定基準の難易度はさまざまですが、多くの認定制度で、症例報告などの実務に関する活動実績が問われます。したがって、症例が豊富な大病院だと、認定取得に有利。

大病院には、既に、専門・認定を持った薬剤師が臨床現場で活躍していますから、学会の選び方から試験対策まで、いろいろなアドバイスが受けられます。

大病院には診療科が多い。あたりまえですが、そこが重要。

各種診療科が揃い、チーム医療も充実

各種の診療科が揃っているので、幅広い症例が学べることや、院内診療科同士の連携にとどまらず、地域から頼られる病院施設としての位置づけから、薬剤師として成長するための、あらゆる知識が習得可能である点が、大きな魅力ですね。

徳山中央病院

症例が多いということ

諫早総合病院

認定取得の際に求められるのが「症例報告」。50症例程度を提出するケースも多いですが、結構大変な作業。
当然、介入症例が多ければ多いほど、認定審査で評価されるような報告が書きやすいわけです。
また治験を受託するにも、症例が無ければ、実施できませんね。
様々な診療科があり、様々な病態の患者さんがいることは、大事なのです。

大病院の中にはこんな病院も

様々な分野の最先端医療技術の恩恵

手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）などを始めとして、様々な最先端技術が医療現場に導入されています。しかしながら、それらの多くは非常に高額な設備ですので、どんな施設でも導入できるものではありません。大病院は、それらを導入する経済的な強さも、それらを操作する人的育成もできる体力があります。薬剤部への機器や技術の導入だけでなく、最先端技術にあわせた薬物療法の進歩に向き合うのも仕事の楽しさの一つです。

九州・山口地区

14 病院のご紹介

JCHO九州・山口地区には、様々な医療機能を持つ14病院があります

山口県

下関医療センター

https://shimonoseki.jcho.go.jp/

〒750-0061
山口県下関市上新地町三丁目3番8号
TEL 083-231-5811

【アクセス】
JR下関駅より路線バスで5分

- 許可病床数：315床
- 標榜診療科：内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、血液内科、消化器外科、呼吸器外科、病理診断科、緩和ケア内科、血管外科、糖尿病内科
- 各部門常勤職員数：**薬剤師17名**、診療放射線技師17名、臨床検査技師20名、理学療法士9名、作業療法士6名、言語聴覚士2名、栄養士6名
- 病院の特色：下関の古い町並みが残る界隈に当院は位置しています。すぐ近くには高杉晋作が最期を迎えた地が史跡として残っており、病院周辺を散策すれば、幕末から明治にかけて重要な地であった下関の往時が偲ばれます。当院は315床、25診療科を擁する急性期病院として、急性疾患や救急疾患を中心に専門性の高い医療を提供することに努めています。加えて、併設の健康管理センター、介護老人保健施設、訪問介護ステーションを通じて、地域住民の健康維持や介護ケアにも力を注いでいます。
- 附属施設等：■介護老人保健施設 ■訪問看護ステーション ■居宅介護支援センター ■健康管理センター
- その他：宿舎：あり　保育所：あり

徳山中央病院

https://tokuyama.jcho.go.jp/

〒745-8522
山口県周南市孝田町1-1
TEL 0834-28-4411

【アクセス】
JR山陽本線「徳山駅」下車、タクシーで10分

- 許可病床数：519床
- 標榜診療科：内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、精神科、緩和ケア内科、ペインクリニック内科、脳神経内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、小児外科、救急科、脳神経外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、リウマチ科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科
- 各部門常勤職員数：**薬剤師33名**、診療放射線技師32名、臨床検査技師41名、理学療法士20名、作業療法士12名、言語聴覚士3名、栄養士10名
- 病院の特色：周南市・下松市・光市の3市で構成される人口約26万人を擁する診療圏の基幹病院です。ダ・ヴィンチ・サージカルシステム、ノバリス（高精度放射線治療装置）、PET-CT、320列CT、ハイブリッド手術室等の最新鋭の医療機器設備を装備し、高度な医療の提供を目指すとともに救命救急センターや屋上ヘリポートを有し地域の急性期医療を担っています。三次救急病院として24時間の受入体制を整備し、地域の方々からは「とくちゅう」として親しまれています。地域がん診療連携拠点病院、小児救急医療拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域災害拠点病院、地域医療支援病院等の指定を受けています。
- 附属施設等：■介護老人保健施設 ■訪問看護ステーション ■健康管理センター
- その他：宿舎：なし　保育所：あり

福岡県

九州病院

https://kyusyu.jcho.go.jp/

〒806-8501
福岡県北九州市八幡西区岸の浦1丁目8番1号
TEL 093-641-5111

【アクセス】
JR黒崎駅よりバスで7分

- 許可病床数：575床
- 標榜診療科：整形外科、外科、呼吸器外科、消化器外科、胃腸外科、肝臓外科、肝のう外科、膵臓外科、乳腺外科、心臓血管外科、脳神経外科、内科、呼吸器内科、消化器内科、胃腸内科、肝臓内科、肝のう内科、膵臓内科、血液内科、腫瘍内科、腎臓内科、代謝内科、内分泌内科、循環器内科、老年内科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、小児科、循環器小児科、新生児小児科、小児外科、精神科、脳神経内科、放射線診断科、放射線治療科、臨床検査科、病理診断科、麻酔科、ペインクリニック外科、救急科、形成外科、リハビリテーション科、心臓リハビリテーション科、緩和ケア外科
- 各部門常勤職員数：**薬剤師34名**、診療放射線技師34名、臨床検査技師46名、理学療法士23名、作業療法士5名、言語聴覚士3名、栄養士8名
- 病院の特色：1955年に九州厚生年金病院として設立。北九州医療圏の基幹病院として地域の急性期医療を担っています。地域がん診療連携拠点病院としてがん診療、緩和ケア、福岡県地域周産期母子医療センターとして周産期医療、小児医療に取り組んでいます。また、災害拠点病院、災害派遣（DMAT）、救急告示病院として年間約5,600人の救急搬送患者の受け入れ、ヘリポートの設置など、災害救急医療体制の充実にも力を注いでいます。
- 附属施設等：■健診部門
- その他：宿舎：なし　保育所：あり

福岡県

久留米総合病院

https://kurume.jcho.go.jp/

〒830-0013
福岡県久留米市櫛原町21
TEL 0942-33-1211

【アクセス】
JR久留米駅よりバスで5分

- 許可病床数：175床　（地域包括ケア病床8床を含む）
- 標榜診療科：内科、腎臓内科（人工透析）、呼吸器・感染症内科、内分泌・代謝・糖尿病内科、消化器内科、循環器内科、麻酔科、ペインクリニック内科、外科、形成外科、乳腺外科、消化器外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、放射線科、リハビリテーション科、精神科、救急科
- 各部門常勤職員数：**薬剤師10名**、診療放射線技師16名、臨床検査技師15名、理学療法士8名、作業療法士7名、言語聴覚士0名、栄養士5名
- 病院の特色：当院は、福岡県久留米市の中心部にあります。保健（健康管理センター）、医療（病院）、介護福祉（介護老人保健施設）が三位一体となった複合医療施設です。健康診断から病気の治療、そして介護まで切れ目のない包括的な医療サービスを提供いたします。
全国に先駆け、女性外来・女性専用病棟を開設、乳がん治療や婦人科疾患治療で実績を積み、特に女性疾患治療の充実に尽力してまいりました。常に、地域のニーズに対応した医療を展開しています。
- 附属施設等：■介護老人保健施設 ■居宅介護支援センター ■健康管理センター
- その他：宿舎：あり　保育所：あり

福岡ゆたか中央病院

https://fukuoka.jcho.go.jp/

〒822-0001
福岡県直方市大字感田523-5
TEL 0949-26-2311

【アクセス】
JR直方駅よりタクシーで10分

- 許可病床数：162床
- 標榜診療科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、外科、呼吸器外科、乳腺外科、肛門外科、整形外科、リウマチ科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
- 各部門常勤職員数：**薬剤師6名**、診療放射線技師8名、臨床検査技師9名、理学療法士9名、作業療法士4名、言語聴覚士1名、栄養士3名
- 病院の特色：当院は、病床数162床の急性期病院として、「地域包括ケアの医療の要」の機能を果たしていくことを第一の使命とし、地域の皆さまより深い信頼を寄せられ、地域の中核病院として活躍しています。「職員満足なくして患者満足なし」という方針のもと、働きがいのある病院づくりで、地域の方々のみならず、職員の皆さまからも「選ばれる病院」でありたいと、人材育成や職場環境づくりに力を注いでいます。
- 附属施設等：■健康管理センター
- その他：宿舎：あり　保育所：なし

長崎県

諫早総合病院

https://isahaya.jcho.go.jp/

〒854-8501
長崎県諫早市永昌東町24-1
TEL 0957-22-1380

【アクセス】
JR諫早駅より徒歩で8分

- 許可病床数：323床
- 標榜診療科：内科、消化器内科、小児科、整形外科、産婦人科、放射線科、脳神経内科、循環器内科、外科、皮膚科、眼科、麻酔科、呼吸器内科、リウマチ科、呼吸器外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、病理診断科、リハビリテーション科、精神科、腫瘍内科、脳神経外科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、消化器外科、放射線治療科
- 各部門常勤職員数：**薬剤師17名**、診療放射線技師20名、臨床検査技師24名、理学療法士7名、作業療法士4名、言語聴覚士3名、栄養士6名
- 病院の特色：当院は急性期病院として、諫早・島原半島の人口約20万人の医療圏において地域のニーズに合った医療を提供しています。病床数323床、診療科28、健康管理センター、透析センター、内視鏡センター、がん治療センター、脳疾患センターを併設しており、地域医療支援病院・災害拠点病院・救急告示病院・認知症疾患医療センター・がん診療連携推進病院等の指定を受け、地域に密着した安心・安全な医療の提供に努めています。
- 附属施設等：■健康管理センター
- その他：宿舎：なし　保育所：あり

松浦中央病院

https://matsuura.jcho.go.jp/

〒859-4594
長崎県松浦市志佐町浦免856番地1
TEL 0956-72-3300

【アクセス】
松浦鉄道西九州線
松浦駅より徒歩で5分

- 許可病床数：67床
- 標榜診療科：内科、循環器内科、呼吸器内科、人工透析内科、外科、消化器外科、こう門外科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科
- 各部門常勤職員数：**薬剤師3名**、診療放射線技師5名、臨床検査技師5名、理学療法士5名、作業療法士4名、言語聴覚士1名、栄養士3名
- 病院の特色：令和2年11月に佐賀県伊万里市より、現在地へ新築移転しました。地域の医療、包括ケアの一翼を担う基幹病院として、医療・介護・福祉・ひと、“地域をつなぐ”存在となり地域に親しまれ、貢献できる病院を目指しています。また健康診断やリハビリ、訪問看護、透析室等も充実させ、地域住民の健康保持増進に力を注いでいます。
- 附属施設等：■訪問看護ステーション ■健康管理センター ■松浦中央病院附属診療所
- その他：宿舎：なし　保育所：なし

佐賀県

佐賀中部病院

https://saga.jcho.go.jp/

〒849-8522
佐賀県佐賀市兵庫南3-8-1
TEL 0952-28-5311

【アクセス】
JR佐賀駅よりバスで8分

許可病床数 160床

標榜診療科 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、外科、整形外科、婦人科、眼科、リハビリテーション科、麻酔科、神経内科、放射線科、病理診断科

各部門常勤職員数 **薬剤師6名**、診療放射線技師8名、臨床検査技師14名、理学療法士17名、作業療法士9名、言語聴覚士1名、栄養士4名

病院の特色 昭和21年に設立され、平成8年に現在地に移転しました。
病院に健康管理センター、リハビリテーションセンター、介護老人保健施設を併設し、疾病の早期発見、治療、機能回復まで一貫した医療体制を整え、地域医療への貢献を目指しています。

附属施設等 ■介護老人保健施設 ■居宅介護支援センター ■地域包括支援センター ■健康管理センター

その他 宿舎：あり　保育所：あり

熊本県

熊本総合病院

https://kumamoto.jcho.go.jp/

〒866-8660
熊本県八代市通町10-10
TEL 0965-32-7111

【アクセス】
JR八代駅よりバスで10分
　　タクシーで5分

許可病床数 400床

標榜診療科 内科、腫瘍内科、感染症内科、アレルギー疾患内科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、胃腸内科、内視鏡内科、脳神経内科、腎臓内科、人工透析内科、糖尿病内科、内分泌内科、代謝内科、脂質代謝内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、腫瘍外科、肝臓外科、膵臓外科、胆のう外科、食道外科、胃外科、大腸外科、内視鏡外科、疼痛緩和外科、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、放射線科、放射線治療科、病理診断科、アレルギー科、麻酔科

各部門常勤職員数 **薬剤師18名**、診療放射線技師21名、臨床検査技師24名、理学療法士11名、作業療法士6名、言語聴覚士3名、栄養士8名

病院の特色 当院は、一昨年にダヴィンチを導入し「機能溢れる高度急性期病院」であるのみならず、「八代のランドマークとなって新しい美しい街創りに貢献する病院」です。「医療と共に公に一肌脱ぐ」、「職員自身がかかりたい病院にする」をモットーに、職員全員がプロとして質の高いチーム医療ならびに満足度が高い接遇の提供に努めています。教育では、各個人の持つ多様なキャリアデザインのニーズに対応した人材育成を行っています。職員にとって働きがい・魅力のある病院です。

附属施設等 ■附属クリニック ■健康管理センター

その他 宿舎：なし　保育所：なし

人吉医療センター

https://hitoyoshi.jcho.go.jp/

〒868-8555
熊本県人吉市老神町35番地
TEL 0966-22-2191

【アクセス】
JR人吉駅より徒歩で13分

許可病床数 252床

標榜診療科 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、血液内科、皮膚科、小児科、外科、呼吸器外科、血管外科、乳腺外科、消化器外科、泌尿器科、脳神経外科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻いんこう科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、総合診療科

各部門常勤職員数 **薬剤師17名**、診療放射線技師20名、臨床検査技師20名、理学療法士12名、作業療法士5名、言語聴覚士3名、栄養士8名

病院の特色 全人医療
“140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します” を当院の理念とし、がん・救急・予防医療の３本柱を中心に質の高い医療が提供できるよう日々研鑽に努めております。救急医療では、二次救急医療機関として受け入れを行っていますが、近年では宮崎県や鹿児島県北地域からの救急搬送が増加しています。また、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院の認定を受け、早期発見・早期治療から緩和ケア、在宅ケアのトータルケアができる地域完結型医療の提供を目指し、医師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、診療看護師、その他医療専門スタッフが協働し“チーム医療” を展開しています。

附属施設等 ■訪問看護ステーション ■健康管理センター

その他 宿舎：あり　保育所：なし

天草中央総合病院

https://amakusa.jcho.go.jp/

〒863-0033
熊本県天草市東町101
TEL 0969-22-0011

【アクセス】
熊本市内から
バス　熊本交通センター～本渡バスセンター　約2時間20分
天草エアライン　熊本空港～天草空港　約20分（天草空港よりタクシーで約15分）

許可病床数 155床

標榜診療科 内科、循環器内科、外科、整形外科、産婦人科、脳神経外科、放射線科、皮膚科、小児科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科

各部門常勤職員数 **薬剤師6名**、診療放射線技師8名、臨床検査技師8名、理学療法士12名、作業療法士5名、言語聴覚士1名、栄養士4名

病院の特色
- ●専門医療の充実と他診療科との連携
- ●救急医療の充実
- ●がん診療、治療の充実
- ●画像診断
- ●熊本県産科中核病院・熊本県地域新生児中核病院
- ●健診業務の充実
- ●看護体制（認定看護師による看護の質向上）
- ●高齢者の疾患対策
- ●地域医療連携の強化
- ●附属介護老人保健施設との連携による医療介護

附属施設等 ■介護老人保健施設 ■訪問看護ステーション ■居宅介護支援センター ■健康管理センター

その他 宿舎：なし　保育所：なし

大分県

南海医療センター

https://nankai.jcho.go.jp/

〒876-0857
大分県佐伯市常盤西町7-8
TEL 0972-22-0547

【アクセス】
JR佐伯駅より徒歩で10分

許可病床数 195床

標榜診療科 内科、循環器内科、外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、放射線科、耳鼻咽喉科、心臓血管外科、皮膚科、麻酔科、形成外科、リハビリテーション科、救急科

各部門常勤職員数 **薬剤師10名**、診療放射線技師10名、臨床検査技師13名、理学療法士17名、作業療法士8名、言語聴覚士1名、栄養士4名

病院の特色 大分県南の中核病院として急性期医療を担っています。（消化器外科等の手術、透析、心臓カテーテル治療、消化器・血液内科等の化学療法等。）令和2年1月に新病院がオープンし、これまで以上に地域に根差した質の高い医療を提供することを方針としています。（大分県南の災害拠点病院、DMAT指定病院）

附属施設等 ■介護老人保健施設 ■居宅介護支援センター ■健康管理センター

その他 宿舎：あり　保育所：なし

湯布院病院

https://yufuin.jcho.go.jp/

〒879-5193
大分県由布市湯布院町川南252
TEL 0977-84-3171

【アクセス】
JR由布院駅より徒歩で20分
　　タクシーで3分

許可病床数 199床

標榜診療科 内科、循環器内科、整形外科、リハビリテーション科、神経内科、心療内科

各部門常勤職員数 **薬剤師4名**、診療放射線技師4名、臨床検査技師4名、理学療法士38名、作業療法士19名、言語聴覚士10名、栄養士4名

病院の特色 温泉観光地「湯布院」という豊かな自然環境のなか、リハビリテーションを核とした地域医療を推進しています。大分県リハビリテーション支援センター（県リハ支援センター）として大分県から委託され、6圏11広域支援センターおよび19の職能団体と協力して地域リハビリテーションの啓蒙・普及に努めています。また、県リハ支援センターが事務局となっている大分災害リハビリテーション推進協議会（大分JRAT）と大分県で「災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定書」を締結して、災害時における被災者の医療救護の協力をおこなっています。由布地域包括ケア推進協議会（実施主体：湯布院病院、地区医師会、中部保健所）では、由布市から委託されて主体的・実践的に協働しています。

附属施設等 ■訪問看護ステーション ■居宅介護支援センター ■健診部門

その他 宿舎：あり　保育所：なし

宮崎県

宮崎江南病院

https://miyazaki.jcho.go.jp/

〒880-8585
宮崎県宮崎市大坪西1-2-1
TEL 0985-51-7575

【アクセス】
JR南宮崎駅よりバスで10分
　　タクシーで5分

許可病床数 269床

標榜診療科 内科、循環器科、外科、整形外科、形成外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科

各部門常勤職員数 **薬剤師14名**、診療放射線技師12名、臨床検査技師14名、理学療法士31名、作業療法士20名、言語聴覚士3名、栄養士7名

病院の特色
- ●地域医療支援病院である
- ●宮崎県内唯一の形成外科認定施設である
- ●急性期から慢性期に至る患者を対象としている
- ●宮崎NST研究会の幹事病院で、NST教育認定施設である
- ●訪問看護ステーションを併設し、在宅緩和医療を支援している

附属施設等 ■介護老人保健施設 ■訪問看護ステーション ■居宅介護支援センター ■健康管理センター

その他 宿舎：なし　保育所：なし

JCHO九州地区病院の施設認定および認定薬剤師（2021.1月現在）

《施設認定》

- 日本医療薬学会認定薬剤師研修施設
- 日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
- 薬学教育協議会薬学生実務実習受入施設
- 日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士実地修練施設

《認定薬剤師》（JCHO九州地区病院薬剤師の取得認定より一部抜粋）

- 日本医療薬学会　がん指導薬剤師、認定指導薬剤師、認定薬剤師、がん専門薬剤師
- 日本病院薬剤師会　がん薬物療法認定薬剤師、感染制御専門薬剤師、生涯研修認定薬剤師
- 日本臨床腫瘍学会　外来がん治療認定薬剤師
- 日本化学療法学会　抗菌化学療法認定薬剤師
- 日本臨床薬理学会　認定CRC
- 日本臨床救急医学会　救急認定薬剤師
- 日本緩和医療薬学会　緩和薬物療法認定薬剤師
- 日本アンチドーピング機構　公認スポーツファーマシスト
- 日本心臓リハビリテーション学会　心臓リハビリテーション上級指導士、指導士
- 日本薬剤師研修センター　認定薬剤師、認定実務実習指導薬剤師、小児薬物療法認定薬剤師
- 日本薬剤師会　生涯学習支援システムJPALSレベル6
- 日本腎臓病薬物療法学会　腎臓病薬物療法認定薬剤師
- 日本静脈経腸栄養学会　栄養サポートチーム専門療法士
- 日本褥瘡学会　日本褥瘡学会認定師
- 日本糖尿病療養指導士認定機構　日本糖尿病療法指導士
- 日本くすりと糖尿病学会　糖尿病薬物療法准認定薬剤師
- 日本アロマ環境協会　AEAJ認定アロマテラピーアドバイザー